

【テーマ〇】 有限責任監査法人トーマツ

「民間企業等の多様なルートにより入職した教職員の教育現場での活躍促進について研究・モデル開発」

調査の概要

◆課題認識

・複雑化・多様化する教育課題に対応するため、多様な専門性を有する質の高い教職員集団の形成が求められている一方、民間企業等経験者の採用は令和6年度で採用者数全体の4.5%にとどまっている

◆調査研究の目的

・民間企業等経験者教員の強みや課題を明らかにし、各自治体における採用を促進するとともに、更なる活躍に向けて必要な支援を明らかにする

◆調査研究の方法

・アンケート調査およびヒアリング調査を実施
 ・アンケート調査は小学校・中学校・高等学校・特別支援学校をの教員を対象に、最大30問のアンケートを行った
 ・ヒアリング調査は小学校・中学校・高等学校の民間企業等経験者教員本人と、民間企業等経験者との勤務経験のある校長、各自治体の採用担当者へ、民間企業等経験者の強み、課題、更なる活躍に向けた支援についてヒアリングを行った
 ・調査を実施するにあたり、茨城県、京都府、神戸市、東京都、名古屋市、三重県、和歌山県にご協力いただいた

取組のポイント・成果

◆取組のポイント

①調査対象の拡大

・令和2年度と同調査では、高等学校のみを対象として実施しており、今回は対象範囲を広げ、小学校・中学校・高等学校・特別支援学校（※特別支援学校はアンケートのみ）への調査を行った

◆結果・成果

・アンケートでは合計2,752件、（内823件が民間企業等経験者教員）の回答を得ることができた
 ・アンケート結果からは、「指導用のICT技能」や、「PDCA サイクルを意識した継続的な授業改善」、「キャリア教育の観点から生徒に指導・助言等をする」こと、また、同僚教員や保護者、外部機関とのコミュニケーションに関連する項目において、民間企業等経験者教員が自己評価・他者評価ともに高い結果となった
 ・一方で、試験問題の作成や、学級内の秩序を保つための指導等は評価が低く、不安や課題を抱えている可能性が高い
 ・上記傾向は教員が経験した業界・業種、職種による明らかな差は見られなかった
 ・ヒアリング調査においても、民間企業等経験者教員のコミュニケーションやキャリア教育に対する強みが見られた一方、教科指導や児童・生徒との関係構築への悩み・課題が挙げられ、課題改善に向けては、同教科教員の配置や同世代教員との交流機会の提供等のサポートが求められている

今後の課題

◆民間企業等経験者の更なる活躍・入職に向けた取組実施と効果測定及び展開

・民間企業等経験者教員の悩み・課題の改善に向けては、学校の受け入れ環境構築や、教育委員会の研修設計や人材配置が必要であり、また、それら取組の具体的な効果・成果の測定等効果的な取組の調査研究を、文部科学省が主導し、情報展開することが必要であるとする